

学校法人
神奈川歯科大学新聞

発行元：
学校法人
神奈川歯科大学
広報委員会

〒238-8580
神奈川県横浜須賀
稲岡町82番地

電話 (046) 822-9690
FAX (046) 822-8706

歯科大の国際化に向けて

韓国・青松学院と留学生受け入れ協定締結

**国際的歯科大学
への大きな
足がかりに**

7月1日(木)、長崎国際大学の紹介で、本学は韓国の予備校大手である青松学院と、留学生受け入れの協定を締結した。

しました。締結の内容としては、青松学院内に「日本留学のための日本語コース」ならびに「神奈川歯科大学進学コース」を設置し、日本語能力検定二級以上の力を有すると認められた優秀な学生に対し、海外指定校外国

人留学生特別推薦入学試験を実施するというものです。今回の締結の背景として、長崎国際大学の薬学部にて、以前より青松学院からの留学生受け入れがなされており、青松学院が、青松学院がさらに歯

学部への留学生受け入れを希望したため、今回長崎国際大学のご尽力により、神奈川歯科大学との調印にいたしました。留学生は日本人の学生と共に日本語で授業を受け、その上で、自国の国家試験を自国語で受験す

るようになります。韓国からの留学生が、本学の学生と机を並べて学び、部活動や様々な交流を通して人間関係を構築することは、お互いの人格形成にとって良い結果をもたらすことでしょう。そして、将来の本学の発展にも資するものと考えます。

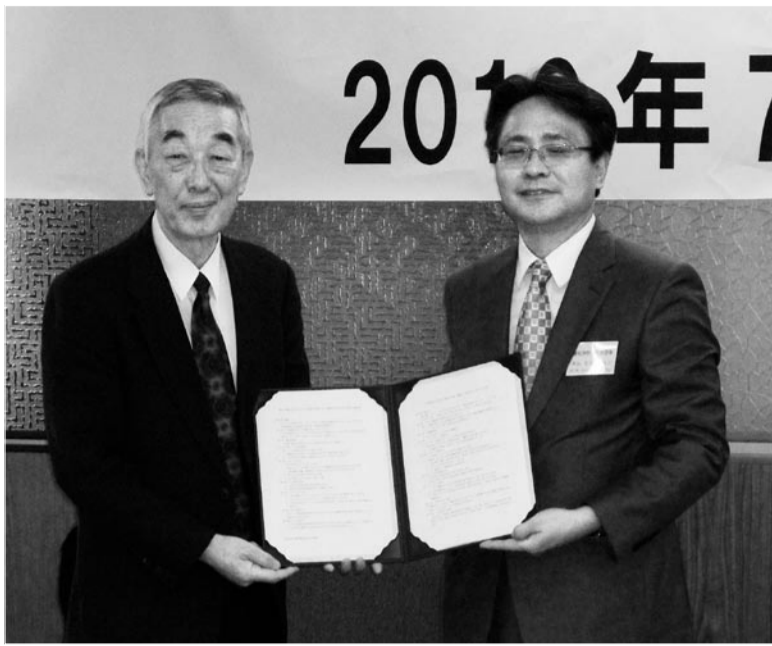
調印日の7月1日(木)、青松学院のキムヒョンジュン代表理事他3名と、長崎国際大学の本岡吉彦常務理事他3名の方々は、本学の横浜研修センター・横浜クリニックを見学されたあと、午後に横須賀に到着されました。附属病院・実習棟・教室棟・図書館・短大棟・看護実習室・女子寮そして解剖棟から標本室へと、精力的に見て回られました。韓国の学生たちに、正確に本学の情報を伝達される使命感を持たれたこと、真剣さをひしひしと感じさせるものでした。見学後、本館4階の会議室にて長崎国際大学の安部直樹理事長そして本学の川瀬出口副学長も列席の上、調印式典が執り行われました。



附属病院内を小林病院長、井野副院長、菅谷副院長の案内で視察



本学川瀬副学長(左)の案内で実習棟での歯科大の授業を視察



協定書を手をキムヒョンジュン代表理事と本学 佐藤学長



本学佐藤学長の挨拶を受ける左よりキムヒョンジュン代表理事、イジョン理事、キムドヒョン副社長、シンヒョンジョン理事、キムヒョンジュン代表理事、長崎国際大学 安部理事長、本岡常務理事、松永学務支援室室長、清越国際交流・留学生支援センター課長



挨拶されるキムヒョンジュン代表理事(右)と通訳もこなされるシンヒョンジョン理事(左)



挨拶される長崎国際大学 安部理事長(右は、本岡常務理事)

本法人鹿島勇理事長より「青松学院、長崎国際大学そして神奈川歯科大学が三位一体となって行う連携事業の、記念すべき第一歩を踏み出すことができました。」と歓迎の挨拶に始まり、佐藤雄学長から「韓国は日本に一番近い外国で、私自身も知り合いの歯科医が

おり、非常に親近感があります。」という言葉に続いて、法人100年、歯科大学46年の歴史についての説明がありました。それを受けて、長崎国際大学の安部直樹理事長からは「薬学部も歯学部も韓国は大変レベルが高く難関であり、日本で学びたいというニーズが大い。青松学院とはそういう観点で提携してきており、結果しつとある。今回、法人で経営している佐世保にある専門学校九州文化学園歯科衛生学院に神奈川歯科大学出身の先生方が来られていて、紹介をいただいた。日本の中心である関東の、歯科大として歴史のある神奈川歯科大学とこうした連携ができることになり、大変喜んでおります。」のご挨拶を頂戴しました。



ユンヨソホ君を囲んで、イジョン理事(左)と佐藤学長(右)

署名調印後、韓国からの留学生で本学2年生の尹榮浩(ユンヨソホ)君と、青松学院の方々の対談があり、大変親密な雰囲気、参加された方々が本学に対し良い印象を持たれたことは、後の懇親会の場でも、感じることができた次第です。

続いて、青松学院のキムヒョンジュン代表理事から「神奈川歯科大学に来て、細やかで温かい心遣いに変化を感じている。学生に対し、先生方が親身になってくれる様子が見て取れる。安心して送り出せる確信を持った。」という感想と、青松学院のご説明をいただき、双方合意の上で、署名調印となりました。

きました。「青松学院は、韓国予備校大手です。オンライン教育で160万人、オフライン教育(登校)で2万人の受験生を対象に、8カ所の学院を有しています。アメリカの大学との提携も視野に入れています。」と今後、国外へ益々拡大していく抱負を述べられました。そのあと、佐藤学長より協定書の内容説明があり、双方合意の上で、署名調印となりました。

ニュース&レポート

本年度第二回教職員 全体説明会開催

6月24日(木)と25日(金)の二日間、横須賀の大講堂と横浜研修センター7階大会議室でそれぞれ、同じ内容で教職員全体説明会が開催されました。



横須賀大講堂



横浜会場

今後の方針については、法人の置かれている現状を全員が理解し、平成19年度に私立学校振興・共済事業団が示した私立大学の経営判断指標で教育研究活動のキャッシュフローの評価向上を目指すべく、諸施策を打ち出していくこととなりました。法人の発展が、次のあるいはその次の世代に確実に受け継がれていくように、今その世代を中心として動き始めているプロジェクトメンバーたちが考えるアイデアと、理事長を中心とする経営陣が考える方向性とのすり合わせの中で、一年一年具体的に改革を進める必要があります。

健全化プロジェクトの 進捗状況

本学では、法人の健全化を図るべく、理事会主導のもとに、「経営健全化プロジェクト」を平成22年4月に立ち上げました。

本プロジェクトは、トップダウン形式の法人経営ではなく、現場の意見を法人の経営に最大限反映させ、より健全な組織作りをする事を一番の目的としています。このチームは管理職を除いた各職種からの若手・中堅クラスを中心としたコアメンバー11名と、アドバイザーの役割を果たすメンバー7名で構成されています。

プロジェクトでは、図1のように、5年後10年後の本法人の将来像をゼロベースで考え掲げました。これは、本年2月から3月にかけて5回にわたって開催され、総勢200名の教職員が参加した学内研修会において出された意見を集約したものです。組織というのは往々にしてさまざまな問題を抱えているものです。その問題を解決しなければならぬことは言うまでもありませんが、ひとつひとつの問題に対して対症療法的な問題解決ばかりに気を取られていくと、1つの問題を解決した後にまた別の問題に取り掛かるということになり、大変な労力と時間を必要とします。

このような現行の問題解決型の成り行きの将来像ではなく、ゼロベースでの将来像を掲げ、その将来像を見据え、逆算的に捉えた際に必要となる緊急対策、整合性のとれた対症療法、ルール作り等を理事会と現場を巻き込み、検討します。

そこで、図1にある将来像に向け、8つのテーマに分けました(図2-1~8)。各テーマに教職員の参加を募り、総勢74名の協力が得られました。

各テーマのあるべき将来像を設定することで全体像を把握し、今後の方



6月9日 理事会と経営健全化プロジェクトとの意見交換会

決まらぬままに取られていくと、1つの問題を解決した後にまた別の問題に取り掛かるということになり、大変な労力と時間を必要とします。

このような現行の問題解決型の成り行きの将来像ではなく、ゼロベースでの将来像を掲げ、その将来像を見据え、逆算的に捉えた際に必要となる緊急対策、整合性のとれた対症療法、ルール作り等を理事会と現場を巻き込み、検討します。

そこで、図1にある将来像に向け、8つのテーマに分けました(図2-1~8)。各テーマに教職員の参加を募り、総勢74名の協力が得られました。

私たちがプロジェクトチームやワーキンググループだけではその目標を達成することはできません。そのため、当事者意識を持った全教職員の主体的な協力が不可欠です。

引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

(平成22年6月24、25日 全体説明会で報告)

私たちの目的・将来像

**健康長寿社会を支える
プロフェッショナル組織**

- 未来につながる財政基盤
- 貢献が報われ誇りある労働環境
- 歯科を核としたグローバルな教育・研究
- 国内外のニーズに応える高度先進医療

【図1】

人材マネジメント

目的達成に向け職場で働く人の最大効果を得る効率的手法について検討し、働く人が活性化し、組織も活性化させていくこと。単に人員削減を意味するものではない。

リーダー	ワーキングメンバー
澤田 智史 クラウンブリッジ補綴学 サブリーダー 遠藤 雄祐 総務部人事課 二瓶 智太郎 保存修復学	池谷 英子 金子 恵久 窪田 光廣 河野 裕之 古谷田啓子 高野 知子 多比 信成 藤原 基 山田 直樹 山本 龍生 吉野 文彦 渡辺 清子

【図2-1】

組織マネジメント・業務改革

多くの教職員は現状で与えられた仕事を一生懸命にこなしている。それを否定するのではなく、業務の効率性・効果性を上げるための改善計画を検討していく。

リーダー	ワーキングメンバー
大橋 桂 保存修復学 サブリーダー 田村 利之 総合歯科学講座	阿部 智 石渡 弥久 小澤 重幸 小飯田武広 高橋 聡子 田口 長 根本 賢治 原 めぐみ 前畑洋次郎 山口真一郎

【図2-2】

教育・入試改革

- 入試面では受験生および保護者に着目される教育機関となるため、現行の入試対策の強化や見直しを図る。
- 教育面では全入時代に対応可能なカリキュラムや人員配置、また中長期を見据えた方向性の検討を行う。

リーダー	ワーキングメンバー
清水 統太 有床義歯補綴学 サブリーダー 鈴木 健司 顎顔面外科学	荒川 秀樹 五十嵐智子 市田 佳子 川上 正人 小泉 忠彦 小西 弘晃 杉本 久 筒井 紀子 三宅真次郎

【図2-3】

医療改革

- 社会のニーズに応える医療施設
- 医療収入増加による財政の安定化

リーダー	ワーキングメンバー
鈴木 健司 顎顔面外科学 サブリーダー 田村 利之 横浜 成人歯科	石井 裕美 岩宮万里子 大西由有子 小田切 憲 川股 亮太 笹栗 健一 佐野 薫 白石 尚基 清宮 一秀 中丸ゆかり 古塵 宗孝 宮崎 裕之

【図2-4】

資産活用

- 既存施設を有効活用し患者や学生、職員の利益につなげる
- 新たな資産取得や維持管理のための財源を確保する

リーダー	ワーキングメンバー
秋山 得男 総務部財務課 サブリーダー 二瓶 智太郎 保存修復学	伊ヶ崎理佳 大平 寛 小森雄一郎 鈴木 康秀 藤原 剛 山内 雅人 山谷 勝彦

【図2-5】

研究・生涯研修改革

- 研究で「稼ぐ」
- 「歯科のスペシャリスト」による地域貢献の充実
- 学内において研修体制が共有されている環境の構築

リーダー	ワーキングメンバー
金坂 雄介 総務部総務課 サブリーダー 二瓶 智太郎 保存修復学	飯村 彰 磯西 康代 井出 桃 鎌田 要平 香西 雄介 藤田 樹理 藤井佳代子 松澤 光洋 松本 剛一 渡部 重記

【図2-6】

広報強化

誰のための、何のための広報であるかを考える
法人外広報:入試、病院広報の強化と危機管理
法人内広報:情報共有をはかり風通しの良い環境づくり

リーダー	ワーキングメンバー
伊藤 由美 総合歯科学講座 サブリーダー 金坂 雄介 総務部総務課	赤坂 徹 工藤 絢子 久保田進也 桜井 淳子 長尾 健 林田 丞太

【図2-7】

横浜研修センター・横浜クリニック

法人全体の中で、横浜はどうあるべきか
ゼロベースで将来像を検討。
→反転への足がかりになるのが、「横浜」!!

リーダー	ワーキングメンバー
遠藤 雄祐 総務部人事課 サブリーダー 鈴木 敏行 総合歯科学講座 清水 統太 有床義歯補綴学 アドバイザー 秋山 得男 総務部財務課	植田 郁子 臼井 大祐 大塚 純 小野 弓絵 片岡あいつ子 道谷 勝男 干枝 桂子 角田 晃 松村 千絵

【図2-8】

平成21年度 決算について

平成21年度決算は平成22年5月25日に監事の監査報告を受け、平成22年5月26日に理事会並びに評議員会で承認されました。

1 平成21年度消費収支計算書の概要(前年度対比)

【消費収入】

平成21年度の消費収入は75億5千7百万円で、前年度と比較すると10億9千8百万円の減収となりました。

学生生徒等納付金については、看護学科が完成年度を迎え、看護学科の学生数は増加したものの、大学院、歯科衛生学科の学生数の減少、歯学部歯学科の充実資金の値下げにより、5千3百万円減収となりました。

補助金については、経常費補助金が減額交付となったことか

ら、5億6千8百万円の減収となりました。

医療収入も1億1千9百万円の減収、雑収入は退職者の減少により私立大学退職金財団交付金が減収となり、2億5千百万円減収となりました。

【消費支出】

消費支出は10億5千2百万円で、前年度と比較すると34億9千6百万円減少となりました。

人件費については、賞与支給の引き下げ、時間外手当支給の見直し、退職者減少等により、13億4千3百万円減少となりました。

教育研究経費については、入学時減免措置により奨学金が5千百万円増加、減価償却額の計算見直しによる、過年度償却不足額を当年度計上したことにより、5億4千百万円増加となりま

した。

管理経費については光熱水費や修繕費が減少したものの、資産運用にかかる調査委員会等の費用や横浜研修センターの医事システム保守、リース料等から、

手数料報酬、業務委託費、賃借料が増加、減価償却額の過年度償却不足額の計上により、4千百万円増加となりました。

今年度も有価証券の処分や時価評価による評価差額、減価償却引当特定資産の時価評価による減損差額を計13億5千5百万円計上しました。前年度と比べると、27億3千8百万円減少となっています。

消費収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金	4,877,070,000	4,780,201,000	96,869,000	
手数料	46,048,000	26,446,650	19,601,350	
寄付金	43,429,000	30,237,056	13,191,944	
補助金	788,554,000	364,761,393	423,792,607	
国庫補助金	778,949,000	356,015,000	422,934,000	
地方公共団体補助金	9,592,000	8,746,393	845,607	
日本国際協会からの援助金	13,000	0	13,000	
資産運用収入	81,147,000	106,261,944	▲25,114,944	
資産売却差額	0	0	0	
事業収入	1,855,315,000	1,949,947,932	▲94,632,932	
雑収入	311,187,000	298,675,667	12,511,333	
帰属収入合計	8,002,750,000	7,556,531,642	446,218,358	
基本金組入額合計	▲297,476,000	▲207,530,238	▲89,945,762	
消費収入の部合計	7,705,274,000	7,349,001,404	356,272,596	
消費支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費	4,941,458,000	4,847,966,049	93,491,951	
教育研究経費	3,122,039,000	3,186,887,280	▲64,848,280	
管理経費	1,081,182,000	1,107,926,261	▲26,744,261	
借入金等利息	0	0	0	
資産処分差額	1,377,260,000	1,377,259,359	641	
徴収不能引当金繰入額	0	331,007	▲331,007	
消費支出の部合計	10,521,939,000	10,520,369,956	1,569,044	
当年度消費支出超過額	2,816,665,000	3,171,368,552		
前年度繰越消費支出超過額	2,063,334,000	6,582,610,432		
基本金取崩額	0	281,903,659		
翌年度繰越消費支出超過額	4,879,999,000	9,472,075,325		

収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	4,877,070,000	4,780,201,000	96,869,000	
手数料収入	46,048,000	26,446,650	19,601,350	
寄付金収入	28,395,000	19,628,517	8,766,483	
補助金収入	788,554,000	364,761,393	423,792,607	
国庫補助金収入	778,949,000	356,015,000	422,934,000	
地方公共団体補助金収入	9,592,000	8,746,393	845,607	
日本国際協会からの援助金収入	13,000	0	13,000	
資産運用収入	81,147,000	106,261,944	▲25,114,944	
資産売却収入	0	0	0	
事業収入	1,855,315,000	1,949,947,932	▲94,632,932	
雑収入	311,187,000	298,621,838	12,565,162	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,101,250,000	836,110,000	265,140,000	
その他の収入	2,864,125,000	2,767,968,663	96,156,337	
資金収入調整勘定	▲1,649,978,000	▲1,479,304,369	▲170,673,631	
前年度繰越支払資金	2,359,764,000	2,992,224,976		
収入の部合計	12,662,877,000	12,662,868,544	8,456	
支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	4,900,526,000	4,919,315,166	▲18,789,166	
教育研究経費支出	1,630,880,000	1,680,898,139	▲50,018,139	
管理経費支出	803,267,000	825,446,645	▲22,179,645	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	144,685,000	11,639,250	133,045,750	
設備関係支出	197,631,000	208,060,965	▲10,429,965	
資産運用支出	248,008,000	2,260,032	245,747,968	
その他の支出	2,946,229,000	2,606,050,192	340,178,808	
(予備費)	()	()	()	
資金支出調整勘定	▲418,487,000	▲427,088,572	8,601,572	
次年度繰越支払資金	2,210,138,000	2,836,286,727	▲626,148,727	
支出の部合計	12,662,877,000	12,662,868,544	8,456	

資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	25,342,264,024	28,331,133,605	▲2,988,869,581	
有形固定資産	19,391,020,415	20,952,040,152	▲1,561,019,737	
土地	3,711,874,174	3,711,874,174	0	
建物	10,897,051,684	12,022,946,561	▲1,125,894,877	
その他の有形固定資産	4,782,094,557	5,217,219,417	▲435,124,860	
その他の固定資産	5,951,243,609	7,379,093,453	▲1,427,849,844	
流動資産	3,498,435,943	3,854,947,484	▲356,511,541	
現金預金	2,836,286,727	2,992,224,976	▲155,938,249	
その他の流動資産	662,149,216	862,722,508	▲200,573,292	
資産の部合計	28,840,699,967	32,186,081,089	▲3,345,381,122	
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	2,501,920,887	2,573,270,004	▲71,349,117	
長期借入金	0	0	0	
退職給付引当金	2,501,920,887	2,573,270,004	▲71,349,117	
流動負債	1,501,221,628	1,811,415,319	▲310,193,691	
短期借入金	0	0	0	
その他の流動負債	1,501,221,628	1,811,415,319	▲310,193,691	
負債の部合計	4,003,142,515	4,384,685,323	▲381,542,808	
基本金の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
第1号基本金	33,559,632,777	33,363,006,198	196,626,579	
第2号基本金	0	0	0	
第3号基本金	86,000,000	86,000,000	0	
第4号基本金	664,000,000	935,000,000	▲271,000,000	
基本金の部合計	34,309,632,777	34,384,006,198	▲74,373,421	
消費収支差額の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
翌年度繰越消費支出超過額	▲9,472,075,325	▲6,582,610,432	▲2,889,464,893	
消費収支差額の部合計	▲9,472,075,325	▲6,582,610,432	▲2,889,464,893	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	28,840,699,967	32,186,081,089	▲3,345,381,122	

1. 法人の概要

(1) 設置する学校・学部・学科および入学定員、学生数の状況 (単位 人)

学校名	学部・学科	入学定員	総定員	在籍学生数		21年度充足率
				平成20年度	平成21年度	
神奈川歯科大学	歯学部	120	720	753	751	104.3%
	大学院 歯学研究科	18	72	67	48	66.7%
	神奈川歯科大学 計	138	792	820	799	100.9%
湘南短期大学	歯科衛生学科	120	360	224	182	50.6%
	看護学科	80	240	172	256	106.7%
	ヒューマンコミュニケーション学科	45	90	113	102	113.3%
湘南短期大学 計	245	690	509	540	78.3%	
神奈川歯科大学附属歯科理工専門学校	歯科理工学科	30	60	32	33	55.0%
	専攻科	10	20	11	12	60.0%
	歯科理工専門学校 計	40	80	43	45	56.3%

※在籍学生数は平成21年5月1日現在の人数

(2) 役員・教職員の概要 平成21年5月1日現在の人数 (単位 人)

区分	法人	短期大学					技工専門学校	附属病院	横浜研修センター	合計
		歯学部	歯科衛生	ヒューマン	看護	短大計				
教授		41	8	6	4	18			59	
准教授		26	1	2	2	5			31	
講師		66	4	2	5	11			77	
助教		58	0	1	2	3			61	
助手		9	4	2	8	14			23	
教員							5		5	
教員補助		2			1	1		62	58	123
医員								54	28	82
研修歯科医								92	20	112
教育 計	0	202	17	13	22	52	5	208	106	573
役員	3									3
事務員		42	5	5	5	15	1	13	8	79
技術職員・用務員		9						1		10
特別研究員		12								12
管理 計	3	63	5	5	5	15	1	14	8	101
合計	3	265	22	18	27	67	6	222	114	677

2. 事業の概要

(1) 教育・研究関係

- ① Aiセンター CT装置 18,060,000円
 - ② 解剖処置室環境改善システム 9,870,000円
 - ③ 戦略的学内ネットワーク構築事業 9,240,000円
- 事業名称「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」
平成20年度より3年間、文部科学省により採択され、福岡歯科大学を代表校として本学を含む全国の8つの私立歯科大学等が行っている事業です。

(2) 学内ネットワーク関連

- ① ファイアーウォールサーバー 14,115,120円

(3) 附属病院

- ① 次期医事システム 83,855,100円
- ② 空調増設工事(2階、6階診療室) 6,142,500円
- ③ 歯科用CT装置 13,421,100円

【消費収入】
平成21年度の消費収入は75億5千7百万円で、前年度と比較すると10億9千8百万円の減収となりました。

【消費支出】
消費支出は10億5千2百万円で、前年度と比較すると34億9千6百万円減少となりました。

【負債の部】
一方、負債については、前受金は主に歯学部の入学者減少により、約2億3千4百万円減少となっています。また、退職給付引当金も期末退職金支給額が減少しており前年度実績で7千百万円減少となっています。

【資産の部】
有形固定資産の減少は、建物・構築物・機器備品の減価償却によるものです。その他の固定資産の減少額は、平成20年度に引き続き減価償却引当特定資産の資産運用による評価損等の計上によるものです。

【基本金の部】
基本金については、第1号基本金において、建物・機器備品・図書取得による組入があり、また、恒常的に保持すべき資金を表す第4号基本金は過年度組入の修正で2億7千百万円取崩となっています。

当法人は借入金もなく、固定資産、流動資産あわせて、28億4千万円の資産があります。慢性的な消費支出超過が続いており、学校の永続性を担保するためにも消費収支バランスの確保が急務と認識しており、今後は学生納付金に依存しない収入源の確保や更なる支出削減を行い、早期に消費収支の改善を図ってまいります。

【負債の部】
一方、負債については、前受金は主に歯学部の入学者減少により、約2億3千4百万円減少となっています。また、退職給付引当金も期末退職金支給額が減少しており前年度実績で7千百万円減少となっています。

【資産の部】
有形固定資産の減少は、建物・構築物・機器備品の減価償却によるものです。その他の固定資産の減少額は、平成20年度に引き続き減価償却引当特定資産の資産運用による評価損等の計上によるものです。

【基本金の部】
基本金については、第1号基本金において、建物・機器備品・図書取得による組入があり、また、恒常的に保持すべき資金を表す第4号基本金は過年度組入の修正で2億7千百万円取崩となっています。

当法人は借入金もなく、固定資産、流動資産あわせて、28億4千万円の資産があります。慢性的な消費支出超過が続いており、学校の永続性を担保するためにも消費収支バランスの確保が急務と認識しており、今後は学生納付金に依存しない収入源の確保や更なる支出削減を行い、早期に消費収支の改善を図ってまいります。

管理経費については光熱水費や修繕費が減少したものの、資産運用にかかる調査委員会等の費用や横浜研修センターの医事システム保守、リース料等から、

手数料報酬、業務委託費、賃借料が増加、減価償却額の過年度償却不足額の計上により、4千百万円増加となりました。

今年度も有価証券の処分や時価評価による評価差額、減価償却引当特定資産の時価評価による減損差額を計13億5千5百万円計上しました。前年度と比べると、27億3千8百万円減少となっています。

2 平成21年度資金収支計算書の概要

資金収支計算書の概要は、その会計年度の(4月1日から翌年3月31日)の諸活動に対応するすべて

算の目的は、その会計年度の(4月1日から翌年3月31日)の諸活動に対応するすべて

算の目的は、その会計年度の(4月1日から翌年3月31日)の諸活動に対応するすべて

設備関係支出はAiセンターCT装置や解剖処置室環境改善システム、戦略的学内ネットワーク構築事業(事業名称「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」として、平成20年度より3年間、文部科学省により採択され、福岡歯科大学を代表校として本学を含む全国の8つの私立歯科大学等が行っている事業)、学内ネットワークのファイアーウォールサーバー、附属病院空調増設、附属病院次期医事システム、歯科用CT装置等を整備し、2億8百万円となりました。

3 平成21年度貸借対照表の概要

1億5千6百万円が前年度繰越支払資金から減少し、次年度支払資金は28億3千6百万円となっています。

引いた年度の消費収支差額は31億1千百万円の支出超過となりました。

却引当特定資産の時価評価による減損差額を計13億5千5百万円計上しました。前年度と比べると、27億3千8百万円減少となっています。

今年度も有価証券の処分や時価評価による評価差額、減価償却引当特定資産の時価評価による減損差額を計13億5千5百万円計上しました。前年度と比べると、27億3千8百万円減少となっています。

3 平成21年度貸借対照表の概要

設備関係支出はAiセンターCT装置や解剖処置室環境改善システム、戦略的学内ネットワーク構築事業(事業名称「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」として、平成20年度より3年間、文部科学省により採択され、福岡歯科大学を代表校として本学を含む全国の8つの私立歯科大学等が行っている事業)、学内ネットワークのファイアーウォールサーバー、附属病院空調増設、附属病院次期医事システム、歯科用CT装置等を整備し、2億8百万円となりました。

設備関係支出はAiセンターCT装置や解剖処置室環境改善システム、戦略的学内ネットワーク構築事業(事業名称「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」として、平成20年度より3年間、文部科学省により採択され、福岡歯科大学を代表校として本学を含む全国の8つの私立歯科大学等が行っている事業)、学内ネットワークのファイアーウォールサーバー、附属病院空調増設、附属病院次期医事システム、歯科用CT装置等を整備し、2億8百万円となりました。

1億5千6百万円が前年度繰越支払資金から減少し、次年度支払資金は28億3千6百万円となっています。

基本金については、第1号基本金において、建物・機器備品・図書取得による組入があり、また、恒常的に保持すべき資金を表す第4号基本金は過年度組入の修正で2億7千百万円取崩となっています。

ワンランクアップの歯科医療を目指す 神奈川歯科大学生涯研修コース

超高齢化社会の到来とともに歯科医療のあり方が問われています。歯科医師過剰時代とも言われ、歯科医療の質の問題が指摘され、今後の歯科医療の発展にとって歯科医師個人の資質向上が重要な課題となっております。Evidence Based Dentistry (EBD) が強調される中、神奈川歯科大学では、一段階上の歯科医療を目指し、国民に最先端の歯科医療を提供できる歯科医師養成を目的に、神奈川歯科大学生涯研修コースを企画しました。皆様の奮っての参加をお待ちしています。



矯正臨床コース

主宰：佐藤貞雄

矯正治療を日常の咬合治療に取り入れるために

1. 矯正治療入門コース

不正咬合の診断に必要な咬合の知識および矯正治療に関する基礎について講義と実習で学ぶ1年(12日間)コース
場所：神奈川歯科大学
日程：平成23年1月に開講、以後2カ月おき1年間継続します。日程の詳細については事務局に連絡ください。

2. 矯正治療実践コース

不正咬合の実践的治療を患者の治療を通して学ぶ2年間(18日+2日)コース(定員15名)
場所：神奈川歯科大学
日程：平成22年10月に開講、以後3カ月おきに2年間継続します。日程の詳細については事務局に連絡ください。

詳細はメールで事務局におたずね下さい

3Dエンド&マイクロスコープ 2日間マスターコース

主宰：石井信之

〈第1期コース〉2010年12月11,12日(定員20名)
〈第2期コース〉2010年12月18,19日(定員20名)
場所：横浜研修センターF6会議室、大講堂
講師：石井信之
主催：神奈川歯科大学生涯研修コース
講習費用：105,000円(昼食、実習費用込み)
懇親会費用：5,000円

〈第1日目〉

10:00~11:20
3Dエンドのコンセプト&マイクロスコープによるエンド
11:30~12:50
根管形成& Ni-Ti Rotary Fileの変遷
ProTaperを根管形成
12:50~13:00 午前中の質疑
13:00~14:00 昼食
14:00~15:30 実習①マイクロスコープ調整法
15:40~17:00 実習②3Dエンド Ni-Ti ファイルによる根管形成
実習③3Dエンド3D根管充填去

〈第2日目〉

9:00~10:30
根管充填法の変遷& 3D根管充填の実際
10:40~12:00
MTAセメントによるリカバリーエンド
実習④ Ni-Ti ファイルによる前歯、大臼歯根管形成
15:00~16:00
実習⑤前歯、大臼歯3D根管充填

協賛企業

(株)デンツプライサンキン、(株)ヨシダ、(株)GC、(株)モリタ、(株)オサダ、(株)ベントロンジャパン、(株)ヒューフレディ、(株)田中歯科商店



高齢社会の歯科治療

主宰：荒川秀樹

高齢社会に向けて歯科医療の根本を見直す

総義歯に与える咬合について
— 歯科技工士の立場から —

講師：生田龍平(フェリーチェ)
齋藤隆司(横浜) コアデンタル)
会場：神奈川歯科大学附属歯科技工専門学校
内容：講演と配列実習による1日コース
日時：平成22年11月7日(日) 10:00~17:00
協力：株式会社GC フェリーチェ 神奈川歯科大学技工科

高齢者の歯科と口腔ケアの実際

講師：黒岩恭子、久保田守、藤田かおり(歯科衛生士)
会場：湘南短期大学
内容：講演と口腔ケア 実習による1日コース
日時：平成23年1月(予定、詳細は事務局まで)
協力：川本産業株式会社、ティーアンドケー株式会社

咬合診断に必要な基礎知識 (初級コース) 基本的なことをマスターしておこう!

主宰：玉置勝司

神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座 有床義歯補綴学分野

このコースでは、日常の臨床に応用できる咬合診断に必要な初歩的(基本的)な内容を分かりやすく解説いたします。この初級コースをきっかけにして、あらゆる歯科治療を成功に導く咬合、顎機能に関する基礎知識を理解していただき、患者の信頼を勝ち得るワンランク上の歯科医師になるためのお手伝いをさせていただきます。

〈内容〉

1. 初診時の問診のポイント
2. 中心位の意義と採得法
3. 下顎運動計測の意義
4. フェイスボー・トランスファー
5. 咬合器への模型付着
6. 臨床における咬合の診断

開催日時：平成22年11月6日(土) 13時30分~16時30分
平成22年11月7日(日) 10時~16時

開催場所：神奈川歯科大学(横須賀)

受講料：一般2万円、研修医・医員8千円、学生5千円(昼食含)



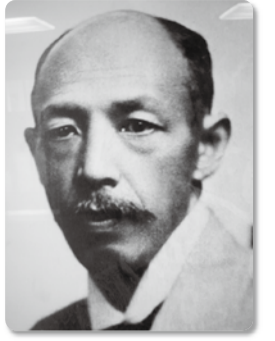
事務局：神奈川歯科大学生涯研修企画室

連絡先：shougaiakenshuu@kdcnet.ac.jp

電話：046-822-8824(月、水、金 各9時~17時)

学校法人神奈川歯科大学 100年を振り返る(開学100周年記念連載)

《第1回》5人の銅像たち



学祖 大久保 潜龍 先生

100周年の意義

本年、本法人は開学100周年を迎えました。今から100年前

1910年、明治43年大久保潜龍が開学した東京女子歯科大学講習所に始まります。100年もしくはそれ以上の歴史を持つ学校はありますが、それほど数が多い訳ではありません。100年前に100年後の需要を見据え、100年間学生の入学希望がある学習環境を維持し、そして卒業した学生が100年間社会で貢献できるように教育してきたからこそ、学校法人神奈川歯科大学は100周年を迎えたわけです。

大久保潜龍の先見の明、時代時代で学校を支えた先人達のたゆまぬ努力、多くの困難を乗り越えてきた行動力に感謝し、その歴史を振り返ってみたいと思います。母校が、100年の長い伝統を持つ学校であることを知ることは、学校に対する見識が向上し、学校へ誇りを持ち、勉学への前向きな姿勢が向上するものとして期待されます。また、100年の歴史を振り返ることは、長い歴史を作った先代を讃え、学生教職員が一丸となって新しい一歩を踏み

出す決意を共有するための一助として意義があります。従って、歴史を知ることが重要なことと

本学100周年の特徴

本学の100年の歴史は順風満帆で来たものではありません。特に戦後の教育改革で、開学以来守ってきた「女子のための歯科医師養成」は認可されず、当時の日本女子歯科大学は昭和25年に閉学を余儀なくされました。しかし、「女子のための歯科教育」への情熱は受け継がれ、神奈川歯科大学が開校した昭和39年までの14年間は、日本女子歯科大学専門学校時代の清水精一理事長、堀武病院院長、川村二郎事務局長が中心となり、昭和25年開学の日本女子厚生学校、昭和27年開学の日本女子衛生短期大学として歴史を繋ぎました。それは現在の湘南短期大学に引き継がれています。そして、歯科衛生士を養成しながら本学鎮雄先生、榎垣麟三先生が加わり昭和39年に神奈川歯科大学が開校しました。本学の100年の歴史の特徴はここにありま

す。すなわち、通常100周年とは学校名、所在地、学校の特徴などが引き継がれていますが、本学の場合は、「歯科医師養成」は中断しましたが人が歴史を引き継ぎ、衛生士養成学校を作り、後に歯科医師養成を復活させました。その方たちの銅像が学内にあります。今回はこの時代の歴史を繋いだ方々がテーマです。

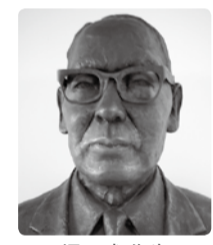
人が繋いだ歴史

①日本女子歯科大学専門学校閉学から歯科衛生士養成へ

清水精一先生は、昭和12年日本女子歯科大学専門学校(財団法人 日本女子歯科医専)理事長に就任され、また、第9代学長を務めました。日本女子歯科医学専門学校最後の学長です。堀武先生



清水 精一 先生



堀 武 先生

は、昭和18年2月に病院長に就任されました。戦後の昭和21年4月、歯科教育審議会が発足し、歯科医学専門学校指定規則が改正され、昭和25年までに歯科医学専門学校は歯科大学に昇格させること、女子歯科大学は認めず共学にすることが決まりました。そのため日本女子歯科医学専門学校は閉学となり昭和23年から学生募集は停止されました。この間、昭和22年に川村二郎氏が事務局長に就任されました。昭和25



川村 二郎 先生

②歯科大学復興

昭和36年、木本鎮雄先生が、理事長に就任されました。木本先生は日本



木本鎮雄 先生

資格付与が始まりました。昭和29年には日本女子歯科厚生学校を別科としました。清水精一先生は、昭和34年に亡くなられました。それに伴い、理事長は堀武先生が兼任され、川村事務局長が実務の補佐役になりました。歯科大学の事務局長を歴任され歯科大の運営に長けた方でした。この頃、本本理事長と本学堀、川村両首脳による会談が発端となりこの3名を中心とした歯科大学設立への流れが加速したとされています。また、この年に榎垣麟三先生で歯科衛生士養成を目的とした日本厚生学校(法人名 学校法人日本厚生学園)が開学しました。この学校は修業年限が1年で歯科衛生士の資格のみだったため、昭和27年歯科衛生士と保健教諭の養成を目的とした日本女子衛生短期大学を開学しました。校長は堀武先生でした。翌年昭和28年には養護教諭養成過程も認可され、3

短期大学、歯科大学の併設には手狭だったため、現在の横須賀へ移転したのも昭和38年でした。歯科大学の新設にあたり学園名が学校法人神奈川歯科大学となり、法人組織の強化が行われ、昭和39年、神奈川歯科大学発足時、中原実理事長、榎垣麟三学長が就任しました。病院長は堀武先生でした。昭和45年、第二回卒業式直前の1月、榎垣麟三初代学長が逝去されました。2月に堀病院院長(短大学長)が、2代目の神奈川歯科大学学長に就任しました。昭和46年、中原理事長が辞任され、木本鎮雄学長が理事長に就任しましたが、翌47年に逝去されました。そのため、同年川村二郎常務理事が3代目理事長に就任しました。



榎垣 麟三 先生

学校として完成

横須賀に移転以来、日本女子衛生短期大学、神奈川歯科大学の校舎、附属病院、研究棟、図書館その他施設や学内組織の整備が着々と進められ、昭和50年、大学院が設置されました。昭和54年には大学院の第一学位記授与式も終了し、まさに大学として体を成した年に堀武学長が逝去されました。このように、清水精一、堀武、川村二郎、木本鎮雄、榎垣麟三各氏を中心となり、日本女子歯科医学専門学校閉学から歯科衛生士教育開始、歯科医学教育の再開、そして学校としての完成がなされました。最後に、日本女子歯科医学専門学校70年記念誌より、日本女子歯科医学専から神奈川歯科大学開学までを記した堀武先生の寄稿を一部引用します。当時の様子と、女子のための歯科医学教育が共学の神奈川歯科大学になった理由が伺えます。

「私は昭和18年に日本女子歯科医専に赴任後、過去の戦争中・戦後の中であって、あわただしい学校の状況や、廃校と運命づけられた。その後の大学再建まで、十数年間辛酸をなめた生活は忘れられないのであろう。このことが出来ないのであります。がしかし、これ等の思い出も、遠い過去となりました。皆さんも今ではあの古びた狭い母校が生涯忘れ得ぬ懐かしい記憶となっておることに存じます。それに就きましては、ただ今横須賀

にありますが神奈川歯科大学はご承知とは思いますが、日本女子歯科医専が大学として復活したものであります。このことに就いて、実は大学としての復活に数年間奔走して、やや設立の見通しが立ちましたので、まず第一に決定しましたのは、日本女子歯科大学の名称で発足することとして、これに違反がないように誓約書まで取り交わしたのであります。ところがいよいよ軌道に乗って来た時期において調べましたところ現在もそうですが各クラスとも女子の在籍生は20数名の少数でありまして、それではどうしても学校が成り立って行かぬことが判明したのであります。従って、やむを得ず、男女共学の神奈川歯科大学と変えざるを得なくなり、過去の校名が使えなかったことがかえすがえすも残念であり、このことを本日お集りの校友の皆さんに心からお詫び申し上げ、又事情やむを得なかったことをご了承頂きたく存じます。以下略」

歯大ニュース

歯科医師臨床研修

マッチングプログラムとは
― 歯科医師として働くために ―

臨床研修は平成18年4月1日から必修化となっており、1年以上の研修が必要です。卒業後の臨床研修先を決定するためには、コンピュータを用いた研修歯科医(応募者)と研修プログラム(病院、診療所)の希望を最

科医師臨床研修マッチング協議会のサイトを参照)

歯科医師臨床研修マッチング協議会のシステム

に研修先の希望を登録するには、個別の就職活動が必要で、まずは自分が何を希望して研修をしたいかを決め、研修施設をホームページ等で調べることからはじめます。● 研修施設を探すポイント

で仕事をしたいか
・プログラムの内容から検討する
EX 附属病院で1年研修、開業医で多く研修する、専門分野で研修する
どこで研修したいか
検討する
EX 今の環境(横須賀・出身大学)で研修する、地元へ帰り研修する、全く別の環境で研修するなど
就職活動の流れは①希

望の研修先を調べる、②見学会の参加をする、③応募書類の提出をする、④採用試験を受験する、⑤採用結果によりマッチング協議会への希望順位登録をする、⑥マッチング(内定)となります。特に6年生はアンマッチとなった場合、再度就職活動となります。アンマッチになると、空席のある研修先を見つけてくれることが7・8月の就職活動期よりも大変困難にな

り、また国家試験に向けての準備と重なるためスケジュール的にも厳しくなります。7月から8月中にいくつかの採用試験を受験し、順位登録するために多くのプログラムを記入できるよう就職活動をして、アンマッチにならないようにスケジュールを組んで活動することが大切となります。

将来どのように働きたいかを考える

就職活動の流れ

①希望の研修先を調べる

・希望のプログラムはあるか

②見学会の参加をする

・見学会の参加は採用試験受験の必須条件が確認

③応募書類の提出をする

・必要書類は全てそろっているか

④採用試験を受験する

・身だしなみ、忘れ物などないか
試験の準備はできているか

⑤採用結果により希望順位登録をする

・採用試験内定の連絡を受けたプログラムをできるだけ多く記入したか

⑥マッチング(就職内定)

・採用内定の契約書類を提出する

アンマッチ

・再度就職活動を開始する

就職内定

国家試験合格

研修開始

神奈川歯科大学大学院講座紹介
① 口腔病理学講座

教授 榎木恵一

大学院指導教員 猿田樹理

唾液腺は神経系、血管系において全身と連絡しており唾液腺と全身との相互関連は密接です。しかし、世界的に見ても唾液腺の全身への影響についての研究は非常に立ち遅れているのが現状です。唾液中の無数の成分には生体にとって極めて有用なものが多く、それぞれの成分は微量としても、毎日継続的に摂取することによって、日々の健康維持、すなわち疾患の予防に貢献することは想像に難くありません。医療は治療から予防重視へと移り変わりつつあります。唾液腺・唾液の研究は、そのような時代

告されており、全身状態を唾液から評価する興味ある研究が見られ、多くの研究者の注目の的になっていきます。● 本研究室では、「唾液腺から全身へ」、「全身から唾液腺へ」の関連を解明する研究領域を唾液腺健康医学と造語し、この研究を通じて社会に役立つ

唾液腺検査を開発することを目標としています。唾液や唾液腺の研究に興味ある方はぜひ大学院生になりませんか。第9回国際バイオテクノロジー国際会議で本研究室の唾液の研究が、多くの企業から注目されました。

大学院を目指す方へ

神奈川歯科大学大学院歯学研究科

神奈川歯科大学大学院歯学研究科は1975年に開設され、以来30年以上も歯科医学をリードする最先端の研究を目指して人材を輩出してきました。基礎および臨床、社会歯科学を統合し、独創的な発想、論理的思考、旺盛な研究心を備えた歯科医学の研究および教育における指導者の育成が歯学研究科の目標です。

社会構造の変化に伴い、研究課題もより高度な世界水準のテーマが要求されます。次世代の歯科医学を担う若い意欲的な人材により、柔軟な発想と積極的な行動力で将来の歯科医学の発展に貢献する、高度な研究を推進していきます。

4年以上在学して、所定の単位を修得し、試験・試問および論文最終審査に合格すると博士(歯学)の学位が授与されますが、優れた研究業績をあげたと認められた人は、3年以上の在籍期間で学位の授与が認められる場合があります。

特に社会人への門戸も広げており、多くの方が仕事の傍ら大学院に入学できるよう配慮されています。

大学院に入学してみようという方は下記にお問い合わせください
神奈川県横須賀市稲岡町82 教学部入試広報係
直通: 046-822-9580

平成22年度
第1回戦略的
SD研修基調講演
TV授業システムで受講

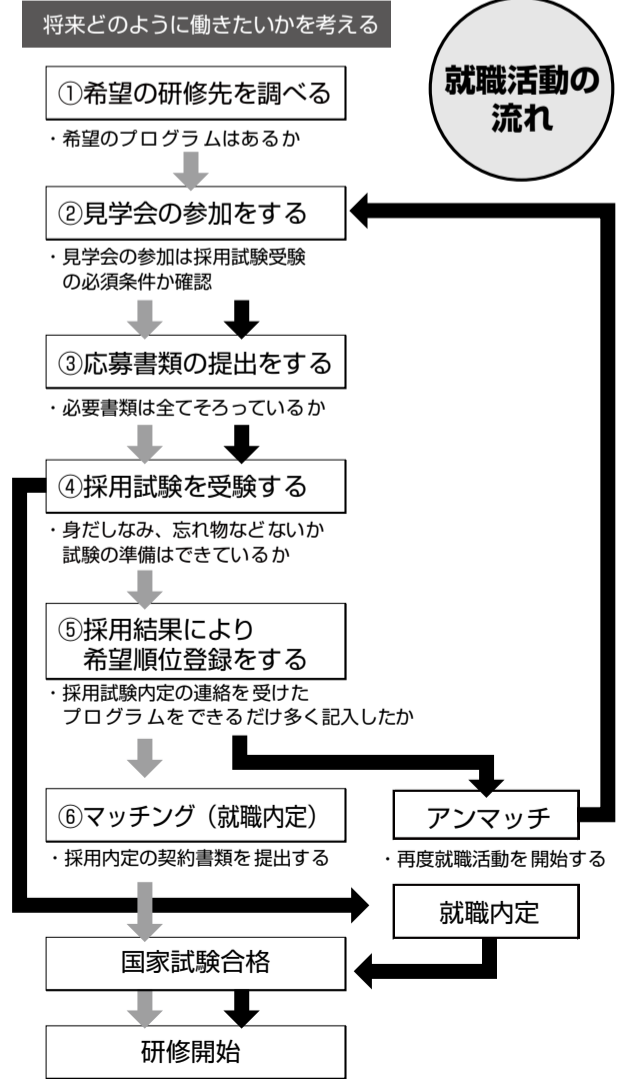
7月2日(金)、7月3日(土)北海道医療大学において、平成22年度第1回戦略的SD連携支援事業SD(スタッフ・デベロップメント)研修が行われました。本学からの参加者は3名。本学では、参加者以外の希望者が、11番教室において同事業で導入した遠隔TV授業システムを利用して、研修プログラム中の基調講演(演題:「我が国の高等教育事情」)を講義する。講師は、小

なわ、今年度の第2回目のSD研修は、鶴見大学において11月頃開催される予定です。



神奈川歯科大学のタイムスケジュール、オープンキャンパスカレンダー、アクセスマップ、およびお問い合わせ先情報。

神奈川歯科大学のオープンキャンパス2010の体験授業紹介、7/18(日)一日歯科医師体験、8/19(木)歯周病を診断しよう!、9/19(日)マイクロスコープによる次世代歯科医療の世界。



特待生表彰式

平成21年度学業成績が特に優秀であり、他の学生の模範となる成績を修めた学生について、表彰式が執り行われました。

日時：平成22年7月14日(水) 12:00～

2年	石井	滋
2年	杉山	聡美
3年	村田	陽太郎
4年	藤巻	龍治
4年	山田	峻太郎
5年	安藤	ゆずる

場所：学長室

写真は、左より上記表の上から順番と同じです。中央は、佐藤学長、木本教学部長。



「ウーマンズヘルスケア博」に参加し大好評

平成22年3月6日(土) 横須賀ショッピングプラザにおいて、横須賀市内在住、在勤、在学の女性を対象としたウーマンズヘルスケア博が横須賀市主催で開催されました。当日は、横須賀市の歯科医師会を始め、医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、母親クラブ連絡会、保健福祉大学と共に神奈川歯科大学も、大学附属病院、附属横浜クリニックが連携し参加しました。

当日は、いわゆる市民参加型のイベントで、女性の健康に関する講演会や様々な展示と共に、団体ごとにブースを設けて、健康相談を始め、身長体重、血圧、体脂肪、骨年齢、肌年齢、血管年齢の測定、また心の健康



横須賀ショッピングプラザ内の会場

(残存歯の数、口腔内の清掃状態、舌苔付着の状態)と共にヒストグラムの形で各自に提供しました。この唾液検査は、待ち時間が出るほどの盛況で、実際に検査を行ってみると、「こんな検査は始めて」「面白い」「もっと唾液のことを知りたい」「毎年やってほしい」等、数多くの声寄せられました。女性のみならず、男性の方からの希望もありました。用意したキットが無くなり、終了

予定の5時を待つことなく、開店休業状態になってしまおうという嬉しい誤算でした。

参加者人数2059人に及びイベントを終えて、改めて健康に対する女性の意識の高まりを実感しました。こうした地域への働きかけは、市民への情報提供の良ききっかけとなることを身をもって経験し、今後も大学として地域への医療提供を行いつつ健康支援の啓蒙活動の一助を担っていきけるのではないかと考えます。

口腔検査科 伊藤由美

神奈川歯科大学に入学して



1年 大野陽平

僕がこの大学に入学した理由は、父が歯科医師をやっており、昔から父から仕事の生きがいや苦労を聞いており、自分も父のような立派な歯科医師になろうと思ったからです。

自分が歯科医師になったら、常に患者さんの立場にたち患者さんを一番に考えるような歯科医師になれるようにしたいです。また、患者さんのかかえている痛みを治してあげられるような技術を習得したいです。



平成22年4月5日(月) 入学式で、歯科大大新生代表として宣誓する青木さん

ですが、分からないところは友達に聞いてお互いに切磋琢磨しています。最後に、これからたくさんの方の困難や壁にぶつかると思いますが、それに屈しない強い精神で日々、精進していきます。



1年 青木嶺由里

満開の桜が咲く中の入学式で、私は学年の代表として宣誓を行った瞬間から歯科医師への志がより一層強まりました。私は、入学してからの三カ月間毎日楽しく充実日々を過ごしています。部活動では、先輩方は優しく接してくれました。また、部活の事以外でも親身に話を聞いてくださるので大学生活の中で大きな助けになっています。

学業においては、高校の授業とは違い、私にとって未知の分野に足を踏み入れたと感じました。これから学年が上がっていくにつれて歯科に直接かわることを学べると思うと待ち遠しいです。同じ志を持った仲間達と助け合いながら大学生活を楽しみ、切磋琢磨していきたいです。将来私は、高い技術と知識を身に付けるだけではなく、患者様の痛み、苦しみを理解し、ただ治療して終わりではなく、患者様とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築き患者様に慕われるような歯科医師になれるように、日々努力して参りたいと思います。

白石尚基 内科学准教授 日本衛生学会学術総会 会長賞受賞

● 附属病院ニュース

平成22年5月9日(日) 11日(火)に開催されました、第80回日本衛生学会学術総会において、神奈川歯科大学 白石尚基内科学准教授が平成22年度日本衛生学会学術総会会長賞を授与されました。第80回学術総会「衛生と環境保健く安全・安心な社会のためのリスク評価をめざして」のテーマのもと、口演演題

「解剖学実習中におけるフォルムアルデヒドの計測」について発表されました。本賞は、若手研究者の育成を目指し、一般口演のセッションごとに、優れた発表者に対して授与されるものです。本受賞は、本学にとってたいへん名誉なことであり、今後のますますの研究の発展と教育並びに社会へのさらなる貢献を期待したいと思います。



白石尚基 内科学准教授 臨床経穴局所解剖学カラーアトラス

● 著者紹介

著者は、これまで長く東洋医学に携わってきた日本東洋医学会専門医で、このたび、臨床鍼灸医学の解剖学解説書を上梓した。これまで経穴の位置は、主として体表のランドマークをもとに示されることが多く、経験の浅い初学者にとってはその同定は難関の一つであった。とくに鍼を刺入する深度は経験によって身につける部分が大き

く、経穴深部の構造について十分な知識のまま臨床に入る傾向は否めなかった。本書においては、頻用される48経穴について、1センチ四方の領域の深部構造を五面展開の写真で解説した。さらに、各経穴は数ミリ単位で段階的に示されてお



(CD-ROM付) 文光堂 2010年6月8日発行 ISBN 978-4-8306-0031-9

り、刺入深度によって遭遇する構造の相違を理解できる構成となっている。安全な鍼灸臨床のために、また、鍼灸を活用するペインクリニックにも有益と考える。

● 湘南短期大学ニュース

「高校教員対象入試説明会」開催

湘南短期大学では、6月16日(水)午後5時より高校教員対象の入試説明会を開催した。神奈川県、東京都、静岡県、公立高校29校より参加があり、本学からも30名以上

上の教職員が参加した。内容としては、学長挨拶、学科説明(各学科長)、入試説明(入試委員長)が行われ、その後学内見学、個別相談会と続きました。当日アンケート結果によれば、参加した先生は進路指導部と高校3年生担任がほとんどであり、また聞きたかった項目は、「入試」がもっとも多く(80%)、次いで「就職状況」(45%)、「学科内容」(38%)でした。アンケートには、「説明がわかりやすかった」「実習室が充実している」「卒業生の様子がわかった」

「安心した」「就職状況がいいのは魅力的」「意外に通いやすいと感じた」等、好意的なコメントが多く寄せられました。

なお、今年度は、参加するすべての高校に対して本学の担当教員を決めて個別対応を強化しました。個別相談会はなかなか雰囲気のうちに行われ、中には7時ころまで話し込む先生もおられました。入試や教育内容の情報伝達のみにとどまらず、高校の先生方と本学教職員との交流にもおおいに役立った会でした。



湘南短期大学保護者会総会開催

保護者会では毎年5月下旬の授業開放日にあわせて総会を行っています。今年も5月26日(水)、レストラン稲岡で、午後3時から開催されました。授業開放に出られた保護者の方々約30名の参加がありました。

はじめに、上田会長より21年度の保護者会運営が役員の方々の尽力で無事に全うできた旨の挨拶、ついで短大長より保護者会活動への謝意の挨拶があり、議事に入りました。まず21年度会計報告と監査報告がなされ、疑義は出ませんでした。保護者出席者と過半数の委任状が事前に提出されたため、満場の拍手とともに承認されました。

次いで22年度役員選出について審議され、21年度役員で本年も引き続き継続する役員と事前に実施した役員就任のアンケートで意思表示した新役員、計15名が本年度役員として承認されました。新役員より本年度の事業計画と予算提示があり、原案通りに承認されました。

本年度事業計画は、湘南短期大学100周年記念式典の後援、総会および教員との懇親会開催です。

最後に、相原学部長より、昨年度の第三者評価を受け、その結果「適格」の評価が得られたことが報告されました。以上で総会は無事に終了しました。

休憩を挟んで、同じ場所、湘南短期大学保護者会主催で、教員との懇親会が開催されました。懇親会は、普段直接教員とふれる機会をもつこと

歯科衛生学科2年生

第67回学童歯みがき大会に参加

平成22年6月4日(金)に両国技館にて第67回学童歯みがき大会及び歯科セミナーが行われ、歯科衛生学科2年生が参加しました。この大会には歯科衛生工学校16校約950名、歯科衛生工学校見学会参加生11校500名、小学校16校約1000名他が参加しました。2年生は他校の学生と合同の行事は初めてでしたので、集合時から少し緊張した様子でしたが、更衣室は、普段は入れない西力士控室で、ツッパリ棒を横目に素早く着替えました。

会場は土俵が収納されるアリーナ席となり、前方にはステージが設けられていました。桝席にはイスが並べられて、二人で一つの桝席を使用するという贅沢な使い方でした。

今年3月に卒業し、ライオン歯科衛生研究所に就職した小林さんが本校の誘導等の担当をしてくださりました。すてきな先輩の対応にうっとり。どうしたらライオンに就職できるのか、学生は興味深々でした。

午前中の歯科衛生工学校への歯科セミナーは、柳沢幸江先生(和洋女子大学教授)による「食べる力・味わう力を育むために」をテーマにした講演でした。おいしさの意味について、乳・幼児の食べる機能と食事について、噛むことと味わうことについて、とてもいいねいにわかりやすくお話してくださいました。歯科衛生士に限らず、将来お母さんになった時にも大変役立つ内容だったと思います。

昼食後はいよいよ当回事業と対面し、一緒に歯みがき大会に参加です。「めざせ！元気なお口！元気なカラダ！」が大会スローガンに掲げられ、参加児童のサポート及び歯科保健指導を行っています。本校の担当は4年生で、普段あまり接することのない対象に口腔内の状況よりも、接し方や話題を心配していたようです。当初は児童も学生もお互い少し緊張した様子でしたが、大会が開始してしまえば、仲良くなり楽しく参加しているようでした。教員としては、児童に接する学生の姿は頼もしく、普段見ることができない一面を見ることができたように思います。

大会後のアトラクションの「天相撲歯みがき大会」では、相撲の用語や基本動作について親しみました。スペシャルゲストとしての大関把瑠都関の登場には、会場が沸きました。

児童と過ごした2時間半はあっという間に過ぎ、大会終了となりました。学生の感想は「指導したことを受け入れてくれて嬉しかった」「児童へ対応法や指導法を学べた点がありました。今回の体験は、後期に行われる小学校での歯科保健指導に向けて大きな一歩になったことと思います。」

歯科衛生学科 片岡あい子

息様が卒業された上田元会長ら3名の役員の労が労われ終了しました。新役員は、早速湘南短期大学の企画に向け活動します。

なお、100周年記念式典は無期延期となりまして、今年度の保護者会での後援は行わなくなりました。申し添えます。

息様が卒業された上田元会長ら3名の役員の労が労われ終了しました。新役員は、早速湘南短期大学の企画に向け活動します。

なお、100周年記念式典は無期延期となりまして、今年度の保護者会での後援は行わなくなりました。申し添えます。



学生プレゼンテーション発表会にて優秀賞を受賞



平成22年2月14日(日)、日本ビジネス実務学会の第37回関東・東北ブロック研究会に於いて「学生プレゼンテーション発表会」が開催されました。湘南短期大学からは、ヒューマンコミュニケーション学科1年生(出場時)の吉野由香里さんが出場し、見事「優秀賞」を受賞いたしました。

(以下受賞された吉野さんからの寄稿文です)

「私のお薦め。これが今回のテーマでした。私は百人一首をお薦めしました。百人一首はカルタとして楽しむことも、また和歌の意味と今の自分を照らし合わせて想いを感ずることもできます。同年代へ向けてということで、『古典の勉強』ではない百人一首の魅力をお伝えたいと思いました。そこで、百人一首を1000年前から伝わるベストソング集であると例え、構成・読み方を先生の指導を受けながら工夫しました。

特に大変だったのが発音のアクセント。何度もこのプレゼン大会をまずは就職活動に役立て、社会人になってからも自分への自信に繋げ役立てていきたいです。また、自分が胸を張ってお薦めできるものをこれからも大切にしたいと思いました。」

何度も練習を重ねることで、より説得力のある話し方を学ぶことができました。また、他の出場者のプレゼンを聞くことで、自分に足りない物、例えば勢いや元気などが人を惹きつける手段であるということを学びました。

ヒューマンコミュニケーション学科2年生 一日研修

5月7日(金)、ヒューマンコミュニケーション学科2年生の一日研修が東京ディズニールンドで行われました。この研修の目的は、ディズニールンドのホスピタリティとマーケティングを臨地で学ぶことおよび学生同士が親睦を図ることです。研修に臨むにあたり、学生は事前にディズニールンドのホスピタリティとマーケティングについて、園内設備について、またスタッフのゲストに対する対応の仕方などを各自がテーマを決め、観察することになりました。

当日は小雨が降るあいにくの天気となりましたが、現地では、学生がグループでアトラクションを楽しみながら、テーマをもとに充実した活動を行いました。また、友人との協働学習を通じて友好を深めることができました。



湘南短期大学に入学して

● 歯科衛生学科



1年 竹山 暁子

私は、アメリカ在住中にAmerican Red Cross Dental Assistant Programを受講しました。このプログラムは、大学で2年間学ぶ一般歯科技術を500時間、半年で身につけるといふものでした。朝6時から8時間、ノンストップで座学とチェアサイドでの実習を行い、資格を取得しました。一日も休まず、外国人は私ひとりの中頑張れたのも、スタッフや先生方が優しく、時に厳しく

く教えてくださったからだと思います。そして、500時間終了後、Perio・Endo・Prosth・Oral Surgery・X-rayの1週間おきに他科も学ぶことができました。

その後帰国し、資格を生かして仕事をしたいのですが、日本の法律では、助手の資格は適応されない為、英会話を必要とする歯科医院で働くことにしました。しかし、先生からの指示と経験で仕事はできましたが、日本では仕事内容に限りがあります。もっとできるのになぜできないのか? そんな思いが歯科衛生士への扉をたたくきっかけになりました。

になりました。大学を選ぶにあたっては、先輩に知人がいらしたことや、前職・バイト先に歯科大学の卒業生がいらしたからです。入学して3カ月が経ちましたが、日々、難しい言葉や漢字に苦労しています。しかし、今まで、ただ指示を受けてやっていた仕事内容が、講義で裏付けされ、目的が分かることで積極的に仕事も出来るようになりました。3年後、資格取得後に、直接患者様とやり取りできることが楽しみです。



1年 根岸 紗知子

た。今後の目標ははっきり見えてきたので、一層努力していきたいと思っています。そして、この大学に入学したことで、同じように歯科医院で仕事をしながら通っている友人と出会ったことです。友人とは、授業内容の話をしたり、悩みを話し合ったりでき、毎日有意義な学生生活を送っています。

私は、某4年制大学の史学科を卒業後一般企業に就職、いわゆる会社員でした。それが一転、今春から再び学生の身となりました。私自身、看護師という仕事を将来の自分の職業として真剣に考えるようになったのはごく最近のことです。身内や友人の病気や死、また出産という生身の命を目の当たりにするようになったことや、常に流動化するコンピュータ社会の現代に普遍的な価値を持つものが医療であり、なかでも手当てをするという根本的理念の看護に興味を持ったことがきっかけでした。一方、今のクラスメイトのほとんどは、20歳にも満たない年齢であるにも関わらず、全身全霊で患者に尽くそうという看護師を志し懸命に学んでいます。それは私にとって驚異的であり称賛に値するもので

す。彼女(彼)たちが看護師を目指す理由がどれほど複雑なのか或いはどれほど単純なのか、私には容易に想像できません。少なくとも私が彼らと同じ年齢のとき、「人の役に立つ仕事か」と本気で考えたことはありませんでした。だから今こうして湘南短期大学看護学科1年生の友人に出会い共に学べることは、本当にラッキーだと思います。

6月半ば、私たち1年生にとって初めての病院実習がありました。実習前は至らない自分に不安材料が膨らむ一方でしたが、短大教員の厳しくも学生を守ろうとする指導に支えられ、またプロ意識が高く看護能力に優れた病院看護師の方達の教えによって皆さんの学びを得ると同時に、いつのまにか不安よりも興味や期待感に気持ちが溢れていきました。実習後は、「一日も早く臨床の場で看護師として活躍したい」気持ちが一層強くなりました。

目標に向かって再び学べるということ、応援し支えてくれる家族や友人、先生はじめ全ての人たちに心から感謝いたします。看護師を志す者として、また人として成長していくために確かな知識と技術に加えて、人に寄り添う心(感性)を学び養っていきけるよう頑張りたいと思います。

『かながわ短大フェア』に参加しました!!

県内の私立短期大学16校が集結する進学相談会『かながわ短大フェア』が、5月29日(土)、横浜のはまぎんホールウィアマールで開催されました。本学のブースには、17組もの高校生が参加していただきました。肌寒い雨の中、ご来場くださいました皆さま、ありがとうございました。

県内の私立短期大学16校が集結する進学相談会『かながわ短大フェア』が、5月29日(土)、横浜のはまぎんホールウィアマールで開催されました。本学のブースには、17組もの高校生が参加していただきました。肌寒い雨の中、ご来場くださいました皆さま、ありがとうございました。



キドキしながらの体験とったよです。また、両学科ともに個別相談では、入試種別や日程試験科目等をじっくり相談いただくことが出来ました。今回の体験・相談が将来の職業選択の一因となれたらうれしく思います。

短大棟前のジャカランは今年も、精一杯咲きました。1000人を超える学外の見物客が訪れ、毎日新聞の6月20日(日)湘南版でカラーで紹介されて、一段とファンが増えたようです。

短大ホームページでも、ジャカランド情報コーナーを設け、ジャカランドの由来から、現在の開花の様子を写真で逐一提供してまいります。来年も楽しみます。

今年もジャカランドが満開に



第三者評価 適格認定証 贈呈式

短期大学基準協会による第三者評価適格認定証の贈呈式が5月13日(木)、福島県郡山市の郡山ビューホテルアネックスで行われました。平成21年度に認定された全国65の短期大学のうち57校の学長らが出席、相原まり子学長が本学代表として認定証の贈呈を受けました。塚本秀人学長以下、認定証を囲み、短期大学の果たすべき使



命の重さをあらためて実感するとともに、より質の高い教育の提供を目指さべく、決意を新たに致しました。

湘南短期大学では、第1回オープンキャンパスを6月20日(日)に開催しました。

湘南短期大学では、第1回オープンキャンパスを6月20日(日)に開催しました。日曜日の開催だったか

らでしょうか、ご家族で来越しになる方が多く見られました。両学科ともに、学科説明・入試説明を終えると体験授業。歯科衛生学科の体験授業は「歯科衛生士は○○なんです!」、看護学科の体験授業は「健康学習...何を学習するの?」でした。イラストや写真を交えた授業にみなさん真剣に聞きっていました。体験授業の後には、キャンパスツアーへ。学科ごとに、本学の教員や在学生の案内で、学内の施設を見学していただきました。歯科衛生学科の1人1台の実習用ユニットに驚いたり、看護学科の赤ちゃんモデルを抱っこしたりと参加者の姿はとても楽しそうでした。

また、個別相談コーナーでは、入試種別や日程、試験科目等をじっくりとご相談いただきました。併設の「先輩と話そう!」コーナーでは、本学の在学生に直接、学生生活や入学試験での心構えなど、進学に関する疑問点や不安点を沢山ご質問していただくことができ、ご来場いただいた多くの皆様に、大変充実した時間をお過ごし頂くことができました。

オープンキャンパスが始まりました

● 湘南短期大学オープンキャンパス 今後の日程 ●
* 13時受付開始~16時頃まで。申し込み不要。

開催日	内容
2010年8月26日(木)	学科・入試説明、体験授業、学内見学、AO対策講座
2010年9月23日(祝)	学科・入試説明、体験授業、学内見学、推薦入試対策講座
2010年10月17日(日)	学科・入試説明、体験授業、学内見学
2010年11月7日(日)	学科・入試説明、体験授業、学内見学
2010年12月5日(日)	学科・入試説明、体験授業、学内見学
2011年2月13日(日)	学科・入試説明、体験授業、学内見学
2011年3月12日(土)	学科・入試説明、体験授業、学内見学

* 歯科衛生学科のみ、9月11日(土)追加開催予定。



湘南短期大 学生生涯学習 セミナーに ついて

湘南短期大学では、毎年、アカデミックサポート委員会が市民向け公開講座として湘南短期大学生生涯学習セミナーを開催しています。短期大学は地元の方々へ情報を発信するという重要な役割があります。地域で勉学の機会を希望される方は多く、昨年度も500人以上の方々の参加があり、実施したアンケートでも好評を頂いています。特に本年は開学100周年の記念の年にあたるため、一学校法人神奈川歯科大学開学100周年記念と銘をうち、内容の更なる充実のためにテーマ別に講座を編纂し、幅広い層に参加して頂けるように配慮しました。本誌読者諸氏にもご参加ご紹介を頂ければ幸いです。各講座8月16日に申し込み受付を開始し8月31日締め切ります。期間中、定員まで先着順に受け付けます。

お問い合わせ・資料請求

FAX : 046-822-8787
E-mail : shogai@shonan.ac.jp
電話 : 046-822-9690
(広報渉外室)迄お願いします

学校法人神奈川歯科大学開学100周年記念

● 平成22年度 湘南短期大学生生涯学習セミナー ●

講座No.	タイトル	講師名	開催日			回数
			日程 (祝日・年末年始は除く)	曜日	時間	
趣味	A1 一絃の琴を弾く	新倉涼子 新倉喜作	10月7日～11月4日	木	13:10～14:40	5
	A2 言葉とコミュニケーション	小島隆雄	10月6日～11月10日	水	13:10～14:10	5
	A3 美しい写真の撮り方 ～写真技法の習得と撮る人の姿勢・心の持ち方～	佐野猛男	10月5日～3月1日	火	13:10～14:40	19
医療 食 環境	B1 飲み水の安全性と健康を考える	坂本照正	10月18日～10月25日	月	14:50～16:20	2
	B2 食を脅かす動物の病気	相原まり子	10月18日	月	13:10～14:40	1
	B3 極限環境に生きる逞しい生き物たち	吉武佐紀子	10月5日	火	14:50～16:20	1
国際	C1 多民族国家シンガポールの社会と文化	奥村真司	11月2日	火	13:10～14:40	1
	C2 北欧福祉国家の年金制度について	内藤英二	11月26日	金	14:50～16:20	1
	C3 異文化のはざまで生きた人々 ～大航海時代を中心に～	三国宣子	12月3日	金	13:10～14:40	1
歴史	D1 日本近代化遺産Ⅱ ～横須賀北部・横浜中南部・鎌倉の軍事遺産と民間近代化遺産～	斎藤八郎	10月5日～12月14日	火	13:10～14:40	10
	D2 「坂の上の雲」放送に寄せて 日本の近代史を考える	石川泰志	10月21日～10月28日	木	13:10～14:10	2
	D3 推古天皇、聖徳太子はほんとうにいたのか？ ～中国正史にみえる日本国成立以前の日本列島の政治状況～	小野田正樹	12月21日	火	13:10～14:40	1
文学	E1 夏目漱石「虞美人草」の仕掛け	奥出 健	12月6日	月	10:40～12:10	1
	E2 千二年目の源氏物語 ～なぞなぞを隠したラブレター～	阿久澤 忠	11月19日	金	14:50～16:20	1
	E3 万葉歌が語る人と歴史 ～平城京遷都1300年を迎えて～	小島恵子	11月12日～11月26日	金	13:10～14:40	3
仏教 哲学	F1 楽しく学ぶ各時代の仏像名品50選	地崎 広	10月8日～11月5日	金	14:50～16:20	5
	F2 仏教と心理学	吉水和規	12月3日	金	14:50～16:20	1
	F3 医の心 ～西洋医学の祖ヒポクラテスを導きにして～	川口雅之	12月6日	月	13:10～14:40	1
コンピュータ	G1 パソコン講座「Word2007で年賀状」 ～来年の年賀状をパソコンで作ってみませんか？～	鎌田りみ 淵脇久美 高木恵美子	11月1日～11月15日	月	13:10～14:40	3
	G2 Google って何？	畠田幸恵	11月10日	水	14:50～16:20	1

● 横浜研修センターニュース

横浜研修センター・横浜クリニック 開学100周年記念公開講座開催

5月15日(土)14時から同センター7階大会議室において、「いびき、睡眠無呼吸障害とメタボリックシンドローム」と題した、公開講座が開催されました。新聞のインフォメーション欄に無料掲載してもらったの集客でしたが、100名を超えるお客様がお見えになりました。入り口では、本クリニック医療スタッフから身体測定を受けられるサービスもありました。お悩みの方、関心の高い方が多いテーマのようで、実際に治療中の方も多く見受けられました。

まず、本クリニックでも診察に当たられている相模原協同病院耳鼻咽喉科の竹田昌彦先生から、睡眠時無呼吸症についての講演がありました。「無呼吸になる理由は2つ考えられ、喉チンコ部分と舌根部のどちらかが閉鎖してしまうことにある。重症者は両方の場合もある。太っていたり、喉に肉がつきすぎていることで起こりやすくなる。鼻つまりも原因のひとつで、口呼吸をしてべろが喉の奥へ引力で落ち込んでしまい、気道をふさいでしまう。重症者は、

睡眠不足と睡眠の質の低下により、昼間に寝不足状態を催し、事故につながる危険性がある。」と治療の重要性を訴えました。

次に、本クリニックの歯科医師である小野崎純先生からマウスピースの有効性と、その他、CPAP*あるいは、外科的治療について話がありました。「この病気は、交通事故のように他人に迷惑をかける危険性のある病気なので、馬鹿にはいけません。マウスピースによって、強めに上下顎の調整を行い、場合によっては可動式のマウスピースを用いることもあります。本クリニックは5階に入院施設を持ち、4階で耳鼻咽喉科と内科、3階2階で歯科診療という、いびきや睡眠時無呼吸症に対応できる、稀有な体制を持った医療施設である。」というPRが入り、皆納得をされました。

最後に、本クリニック内科医の安岡比呂子先生より「メタボリックシンドロームに対する健康診断の役割」について「メタボとは、肥満が原因で動脈硬化を惹き起こし、心臓病や脳卒中に至る原因となるもので、皮下脂肪型と内臓脂肪型があり、食生活、運動、禁煙薬によって改善を図る。」と、大変分かりやすく解説がありました。

1時間半を超える講演会は、途中退場者も無く、程よい緊張状態の中で、皆さんの満足を得るに十分なものでした。また、帝人在宅医療株式会社の方々が、CPAPの現物を展示されて、場を盛り上げてくださいました。ありがとうございました。

*CPAP(睡眠時に鼻から自動的に空気を送り込む装置) Continuous Positive Airway Pressure(略)



受付の様子



センター7階大会議室での講演

● ニュース & レポート

ジャカラランダの下、献血活動の実践

6月29日(火)10時より、横須賀南ライオンズクラブの協賛により、日本赤十字社の献血が行われました。ジャカラランダのフェルメールブルーの花がヒラヒラと舞い散る前で、献血バスとテントが準備され、多くの協力を得ることができました。結果は、42名からの採決を得ることができました。実は、61名の申し出を受けたのですが、検査の結果、19名の方の血液は、輸血に適さないという検査結果が出てしまいました。また、献血の90%の方は400mlの採血にご協力をいただきました。昼休みの短時間を利用して、駆けつけてくださった、学生の皆さんにも感謝いたします。また、献血不適合となってしまう方は、これをきっかけに、健康管理に励んでいただきたいと思っています。

